

令和2年度 学校経営方針

兵庫県立加古川西高等学校長
木村篤志

■ 「スーパーグローバル」人材の育成

「地球規模で考えて、身近なところで行動する(Think globally, act locally)」力と「身近なところで考えて、地球規模で行動する(Think locally, act globally)」力の双方を兼ね備えた国際社会で活躍できるリーダーを育成するため、以下の項目について重点的に取り組む。

1 文武両道のこころ優しい人づくりをおこなう。

- (1) 部活動を高校生活の重要な要素と位置づけ、部活動への主体的な参加を奨励する。
- (2) 勉学と部活動の両立を推進し、生徒の自己有用感の向上を図る。
- (3) 人権意識を高め、人を大切にできる生徒を育てる。
- (4) 人間関係の基礎である、挨拶ができる生徒を育てる。

2 生徒一人ひとりに応じた教育を提供し、生徒・保護者の多くが希望する国公立大学・難関私立大学への進学を力強くサポートする。

- (1) 全教職員の共通理解のもと、3年間を見通した進路指導を行う。
- (2) 緻密で丁寧な進路検討会を行い、生徒一人ひとりの最適な進路を見いだす。
- (3) 2021年に実施予定の「大学入学共通テスト」についての研究を推進する。

3 教員の教科指導力を磨き、魅力ある授業を展開する。

- (1) 校内研究授業・公開授業を計画的に実施し、教員の指導力を向上させる。
- (2) 積極的に研修をおこない、教員自ら研究心を持って生徒を指導する。
- (3) 新学習指導要領への対応と総合的な探求の時間について実践研究する。

4 国際市民類型クラスを核としながら、全校あげてグローバル教育を推進する。

- (1) 海外の大学や高校との連携・交流や異文化理解を促進する。
- (2) 英検などの資格取得や、GTECのスコアアップなど語学力の向上に向けたサポートを強化する。
- (3) ディベート大会やスピーチコンテストへの参加、プレゼンテーション研修などを通じて、グローバル社会で通用するコミュニケーション能力の向上を図る。

5 ふるさとを愛し、将来地域社会の担い手となる生徒を育成するための学校づくりに取り組む。

- (1) 地域の行事やボランティア活動への積極的な参加を促す。
- (2) 地域社会に開かれ、生徒が安心して通える安全で美しい教育環境を整備する。
- (3) 卒業後も同窓生として関わっていきたいと思える魅力ある学校づくりに取り組む。
- (4) Webページや「学校便り」により最新の学校生活を発信する。

令和2年4月1日